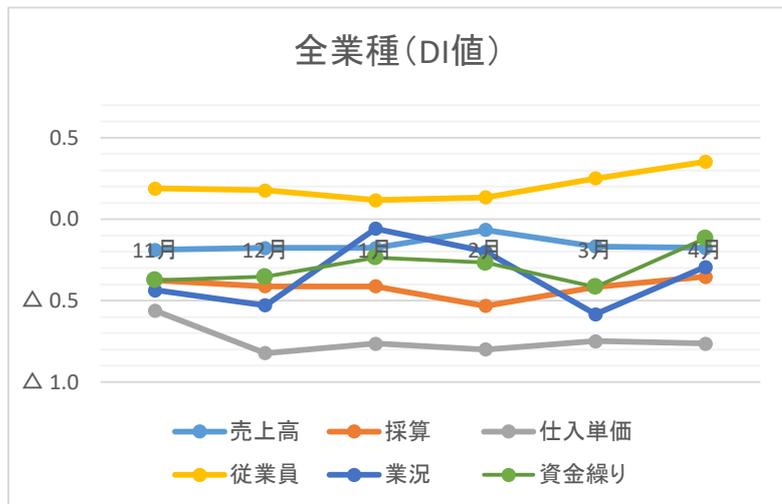


# 白河商工会議所LOBO調査結果(令和4年4月分)

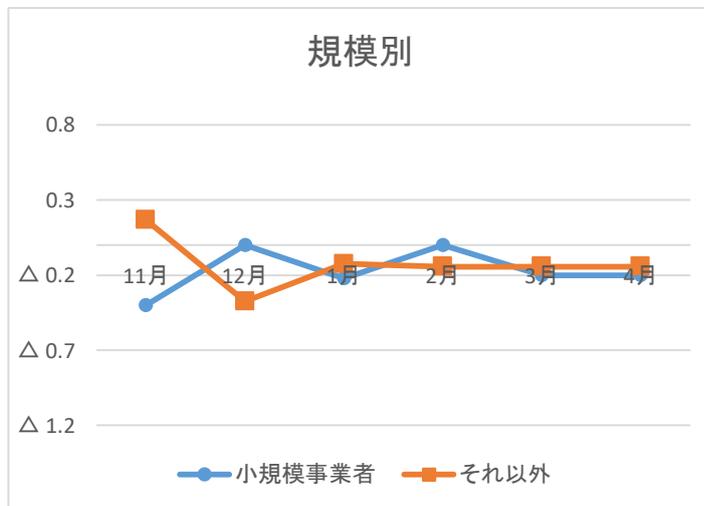
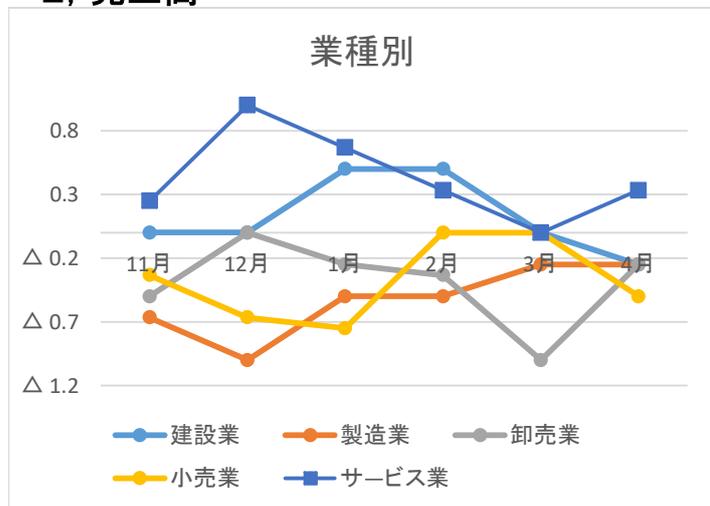
実施期間:令和4.4. 6~4.15 回答事業所: 17事業所

## 1, 全業種DI値



4月の全業種DI値を見ると、従業員が+0.1ポイント、業況、資金繰りが+0.3ポイント上昇した。一方で、売上高、採算、仕入単価は横ばいとなった。

## 2, 売上高

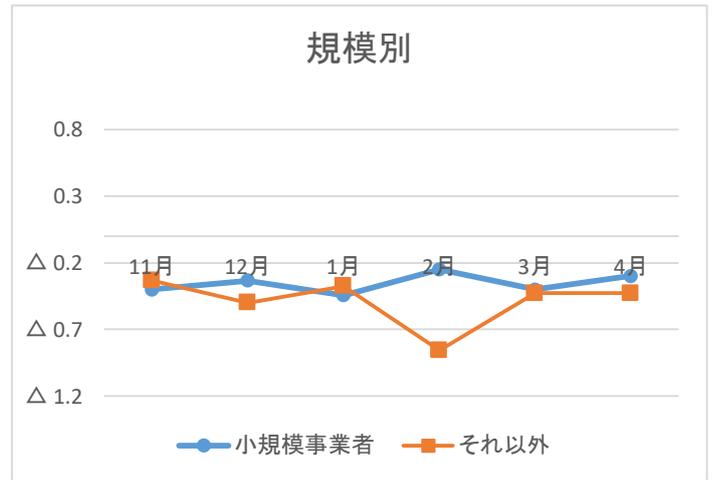
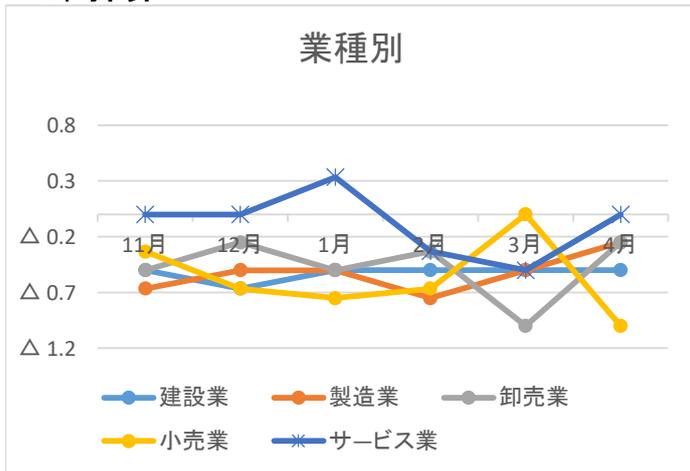


売上DIの推移

	11月	12月	1月	2月	3月	4月
全産業	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.2
建設	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0	△ 0.3
製造	△ 0.7	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3
卸売	△ 0.5	0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 1.0	△ 0.3
小売	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.8	0.0	0.0	△ 0.5
サービス	0.3	1.0	0.7	0.3	0.0	0.3
小規模	△ 0.4	0.0	△ 0.2	0.0	△ 0.2	△ 0.2
それ以外	0.2	△ 0.4	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1

全産業の売上DIは前月と同じである。業種別に見てみると、サービス業が+0.3ポイント上昇した。一方で、小売業が-0.5ポイント、建設業が-0.3ポイント、卸売業が-0.7ポイント下降した。製造業は横ばいとなった。規模別に見ると小規模、それ以外ともに横ばいという結果となった。

### 3, 採算

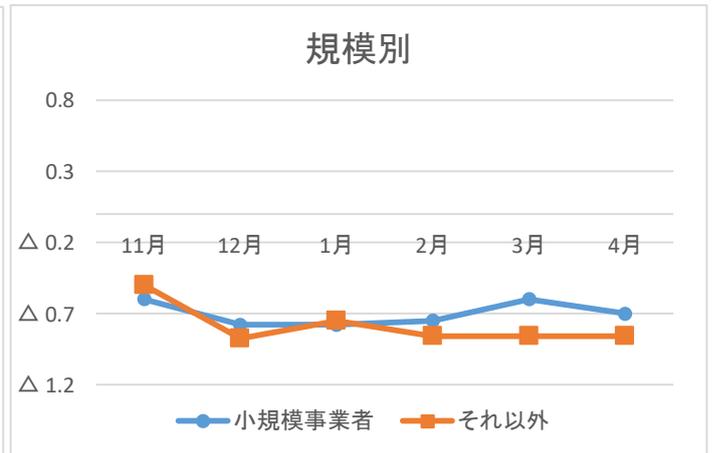
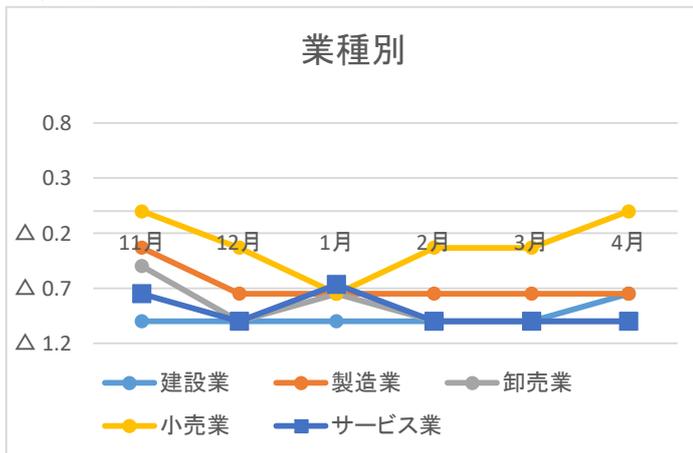


採算DIの推移

	11月	12月	1月	2月	3月	4月
全産業	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.4
建設	△ 0.5	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5
製造	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.5	△ 0.3
卸売	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 1.0	△ 0.3
小売	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.7	0.0	△ 1.0
サービス	0.0	0.0	0.3	△ 0.3	△ 0.5	0.0
小規模	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.3
それ以外	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.9	△ 0.4	△ 0.4

全産業の採算DIは前月と同じである。  
業種別に見てみると、製造業は+0.2ポイント、卸売業は+0.7ポイント、サービス業は+0.5ポイント上昇した。  
一方で小売業は-1.0ポイント下降した。建設業は横ばいとなった。  
規模別に見ると、小規模は+0.1ポイント上昇、それ以外は横ばいであった。

### 4, 仕入単価

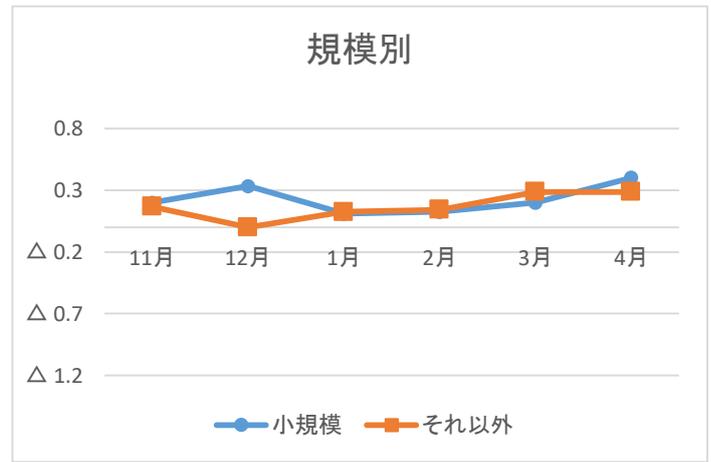
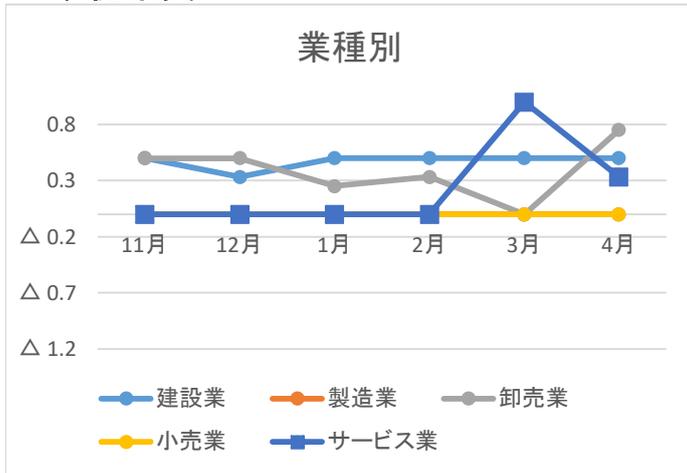


仕入単価DIの推移

	11月	12月	1月	2月	3月	4月
全産業	△ 0.6	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8
建設	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.8
製造	△ 0.3	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8
卸売	△ 0.5	△ 1.0	△ 0.8	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
小売	0.0	△ 0.3	△ 0.8	△ 0.3	△ 0.3	0.0
サービス	△ 0.8	△ 1.0	△ 0.7	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0
小規模	△ 0.6	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.6	△ 0.7
それ以外	△ 0.5	△ 0.9	△ 0.8	△ 0.9	△ 0.9	△ 0.9

仕入単価の全産業DIは前月と同じである。  
業種別に見ると、建設業は+0.2ポイント上昇、小売業は+0.3ポイント上昇した。  
製造業、卸売業、サービス業は横ばいとなった。  
規模別に見ると、小規模は-0.1ポイント下降、それ以外は横ばいという結果となった。

## 5, 従業員

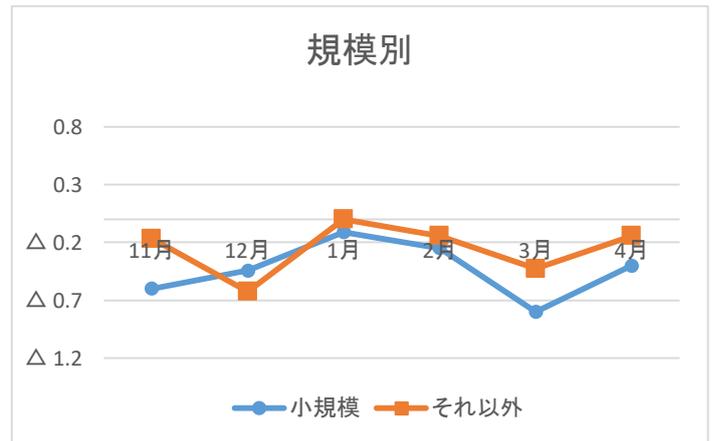
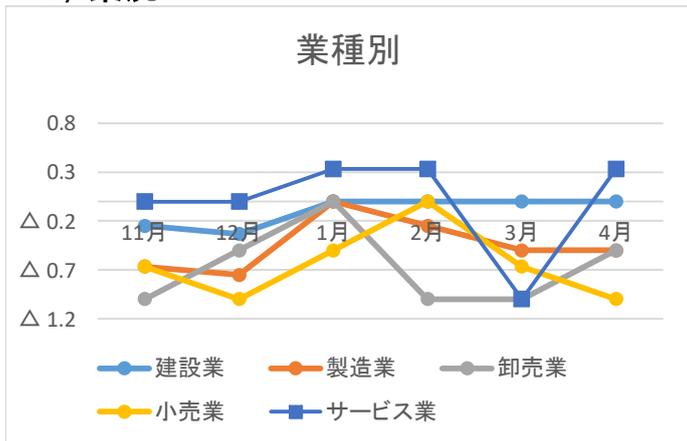


従業員DIの推移

	11月	12月	1月	2月	3月	4月
全産業	0.2	0.2	0.1	0.1	0.3	0.4
建設	0.5	0.3	0.5	0.5	0.5	0.5
製造	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売	0.5	0.5	0.3	0.3	0.0	0.8
小売	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.3
小規模	0.2	0.3	0.1	0.1	0.2	0.4
それ以外	0.2	0.0	0.1	0.1	0.3	0.3

従業員の全産業DIは前月から+0.1ポイント上昇した。  
業種別にみると、卸売業が+0.8ポイント上昇した。  
一方で、サービス業は-0.7ポイント下降、建設業・製造業・小売業は横ばいとなった。  
規模別にみると、小規模は+0.2ポイント上昇、それ以外は横ばいとなった。

## 6, 業況

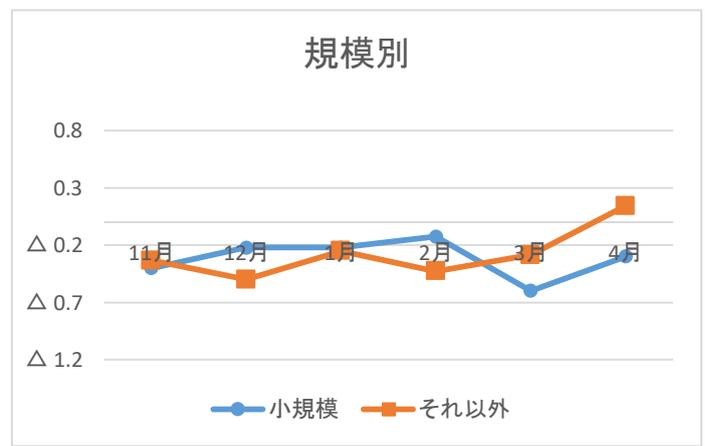
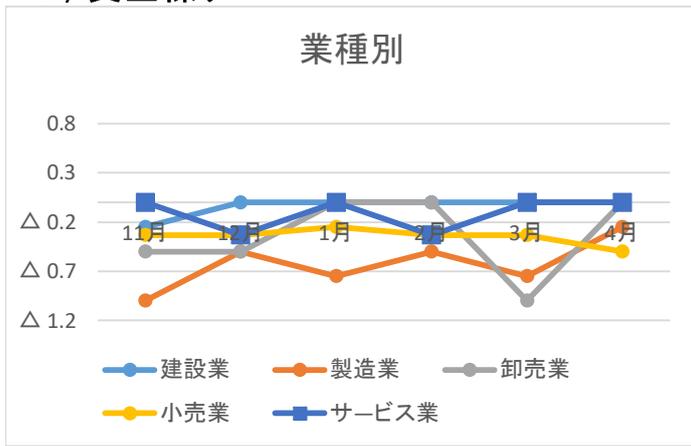


業況DIの推移

	11月	12月	1月	2月	3月	4月
全産業	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.6	△ 0.3
建設	△ 0.3	△ 0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
製造	△ 0.7	△ 0.8	0.0	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5
卸売	△ 1.0	△ 0.5	0.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5
小売	△ 0.7	△ 1.0	△ 0.5	0.0	△ 0.7	△ 1.0
サービス	0.0	0.0	0.3	0.3	△ 1.0	0.3
小規模	△ 0.6	△ 0.4	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.8	△ 0.4
それ以外	△ 0.2	△ 0.6	0.0	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.1

業況の全産業DIは前月から+0.3ポイント上昇している。  
業種別に見ると、卸売業が+0.5ポイント、サービス業が+1.3ポイント上昇した。  
小売業は-0.3ポイント下降した。  
建設業・製造業は横ばいとなった。  
規模別で見ると、小規模は+0.4ポイント、それ以外は+0.3ポイント上昇という結果となった。

## 7, 資金繰り



資金繰りDIの推移

	11月	12月	1月	2月	3月	4月
全産業	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.1
建設	△ 0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.3
卸売	△ 0.5	△ 0.5	0.0	0.0	△ 1.0	0.0
小売	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5
サービス	0.0	△ 0.3	0.0	△ 0.3	0.0	0.0
小規模	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.6	△ 0.3
それ以外	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.3	0.1

資金繰りの全産業合計DIは前月から+0.3ポイント上昇した。  
 業種別に見ると製造業は+0.5ポイント、卸売業は+1.0ポイント上昇した。  
 一方で小売業は-0.2ポイント下降した。建設業・サービス業は横ばいとなった。  
 規模別に見ると、小規模は+0.3ポイント、それ以外は+0.4ポイント上昇した。

※「建」:建設業、「製」:製造業、「卸」:卸売業、「小」:小売業、「サ」:サービス業

## 1.付帯調査【新型コロナウイルスによる影響について】

### 1-1 新型コロナウイルスによる経営のマイナスの影響について

	建	製	卸	小	サ	合計
①深刻なマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が50%超減少)		1	1			2
②大きなマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が30%程度減少)	1	1	1	1	1	5
③ある程度のマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が10%程度減少)		1		1	1	3
④現時点で影響はないが、今後マイナスの影響が出る懸念がある	2	1	1		1	5
⑤影響はない	1					1
⑥分からない			1			1
⑦回答不能						0

## 2.付帯調査【為替相場の変動による影響】

### 2-1 円安進行が貴社の業績に与える影響について

	建	製	卸	小	サ	合計
①メリットの方が大きい						0
②デメリットの方が大きい	2	2	2		3	9
③メリットとデメリットは同程度						0
④メリットもデメリットもない	1	1	2			4
⑤わからない	1	1		2		4
⑥その他						0
⑦回答不能						0

2-2 2-1で選択し1~3と回答した方にお伺いします。具体的な影響について、選択肢からお選びください。

	建	製	卸	小	サ	合計
①自社の輸出額増加						0
②取引先の輸出額増加による受注増加						0
③取引先の国内回帰による受注増加						0
④輸入品価格上昇による自社製品の価格競争力向上						0
⑤為替差益による収益改善						0
⑥原材料、部品、商品等の仕入価格の上昇に伴う負担増	2	2	2		3	9
⑦燃料・エネルギー価格の上昇に伴う負担増	2	2	2		3	9
⑧仕入コスト上昇分を販売・受注価格へ転嫁できず収益悪化	1	2	2		2	7
⑨仕入コスト上昇分を価格に転嫁したことによる売上・受注額の減少	1	2				3
⑩輸入品の値上げに伴う消費者の節約志向の強まり		2			1	3
⑪為替差損による収益悪化		1				1
⑫その他						0
⑬回答不能						0

### 3-1 2021年度の採用について

	建	製	卸	小	サ	合計
①正社員を新卒採用した	2					2
②正社員を中途採用した	2		1	1	1	5
③非正規社員を採用した						0
④募集したが正社員・非正規社員ともに全く採用できなかった					1	1
⑤そもそも募集しなかった		3	3	1	1	8
⑥回答不能		1				1

3-2 3-1で選択し1~3と回答した方にお伺いします。2021年度の採用における充足状況について、選択肢からお選びください。

	建	製	卸	小	サ	合計
①新卒採用の正社員を予定した人数確保できた	1					1
②中途採用の正社員を予定した人数確保できた	1					1
③非正規社員を予定した人数確保できた				1		1
④新卒採用の正社員を予定した人数確保できなかった	1					1
⑤中途採用の正社員を予定した人数確保できなかった	1		1		1	3
⑥非正規社員を予定した人数確保できなかった						0
⑦回答不能						0

## 付帯調査まとめ

新型コロナウイルスによる経営のマイナスの影響についての付帯調査では、「深刻または大きな影響がある」と答えた事業所は41.2%だった。現在は影響がない事業所も、今後マイナスの影響がでる可能性を懸念している。

為替相場の変動による影響についての付帯調査では、円安が与える業績への影響調査において「デメリットの方が大きい」と回答した事業所が最も多く52.9%を占めた。

また、具体的な影響についての設問では、上位2つに「原材料、部品、商品等の仕入価格の上昇に伴う負担増」、「燃料・エネルギー価格の上昇に伴う負担増」がともに9件の回答があった。コロナウイルスによる売上への影響はまん防の全面解除により一段落したが、原材料や燃料費の高騰で深刻な影響が出ているという意見もあった。

2021年度の採用状況についての付帯調査では、「そもそも募集しなかった」が最も多く47.1%、「正社員を中途採用した」が29.4%と続いた。

採用を実施した事業所の充足状況については、「中途採用の正社員を予定した人数確保できなかった」事業所が最も多かった。